



第155号
令和2年3月15日
発行：公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
編集：広報委員会
日野市日野本町2-4-7
Tel:042-581-8171



会員数(人)	
令和2年1月31日	
計	1,706
男性	1,209
女性	497
1月入会者	11
(男7、女4)	
1月退会者	12
(男6、女6)	

新型ウイルス、当SCも厳戒 会合中止、感染予防呼び掛け

新型コロナウイルスの感染拡大で、日野市シルバー人材センター(SC)の活動に大きな影響が出ています。

日野市内で2月22日、ウイルスの感染者1名が確認され、日野市は感染予防のほか、不急の会合やイベント等の中止や延期を呼びかけました。また市の「感染症対策本部」を「危機管理対策本部」に格上げするなど警戒を強めています。

当SCも2月25日の理事会で、国や日野市の方針を踏まえ、会員や市民のみなさんの安全確保を第一に、3月末まで原則として当SCの会合やイベントなどを中止または延期することを決めました。また会員の皆さんによる会合など

についても中止や延期をお願いすることにしました。

2月末に全会員に配布した「新型コロナウイルスに関するお知らせ」でもお伝えしましたが、中止や延期が決まったのは当SCの常設委員会開催のほか、就業期限確認書交付(3月3日)、地域班長会議(3月13日)、入会面談(3月16、17日)などです。3月開催のカルチャー教室についても中止(後日に補講)を決めました。

今回の感染拡大は、国内がすぐに見方も示されており、政府が大规模イベントの開催中止を求めたほか、全国小・中・高校の臨時休校を要請するなど、まさに非常事態

の様相を深めています(日野市は市内全小中学校で3月3日から15日まで臨時休校)。

当SCにおいても今後さらに新たな対策が求められることも予想されます。会員や市民のみなさんの安全確保のため、必要な対策を早めに打ち出し、お伝えします。

また感染予防のため、会員のみなさんにも出来る限りの対応をとっていただくよう改めてお願いいたします。

感染を防ぐには

新型コロナウイルス感染症はウイルス性の風邪の一種で、発熱のほかのどの痛み、せき、そして強いだるさが特徴です。

ウイルスは飛沫感染と接触感染でうつります。

飛沫感染は感染者のせき、つばなどと一緒にはウイルスが放出され、周囲の人がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

また接触感染は感染者がくしゃみ、せきなどを手で押さえるなどして、その手が触れた周りの物にウイルスが付着。他の人がそれに触れるとウイルスが目や鼻などの粘膜を通して体に入り、感染します。



この感染症は重症化すると肺炎となり、死に至る場合があります。特に高齢者や基礎疾患(心疾患、肺疾患、糖尿病などの持病)のある方は重症化しやすいとされ、注意が必要です。人混みなどはできるだけ避けるようにしましょう。

感染予防は、まず手洗いが大切です。外出からの帰宅時など、こまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

またマスクは、他の人のせきなどによる飛沫が口や鼻に入るのを防ぐほか、自身のせきなどによる飛沫が周囲に散ることも防ぐので、

(2面に続く)

外出時には着用が欠かせません。新型コロナウイルスは、無症状の方からの感染も報告されています。こうした感染症に対しては、うつされるということのほか、自身がつつしてしまう立場にもなり得るという自覚も大事です。

さらには現在のような状況の下では、仲間とのカラオケや麻雀なども、マイクや麻雀牌にウイルスが付着する可能性は否定できないという警戒心も必要です。

感染予防の対応をしつかりすることが自身や周囲の人の身を守ることにつながります。気を緩めず、この事態を乗り切りましょう。

新年度事業計画固まる 家庭向け総合サービスなど

日野市シルバー人材センター（SC）の令和2年度事業計画案が2月20日の委員長連絡会議で報告されました。3月の理事会で承認の予定です。

計画案はSCを取り巻く社会環境が大きく変わる中で、新たなサービス提供などによる就業機会の拡大や対外向けPRの一層の強化を通してSCの認知度アップと会員増強を図る姿勢を鮮明にしています。また死亡事故を含めた元年度の会員事故多発を受け、事故防止策を徹底する方針も打ち出しています。

事業実施計画のうち、新しい取り組みは次の通りです。

事業実施計画のうち、新しい取り組みは次の通りです。

「広報ひの」への広告掲載などのほ

か、新たなPR策の検討と実施、ホームページのリニューアル検討

◇入会者を増やす対策の強化

新たな会員募集チラシの作成など会員増強対策の検討と実施に強力に取り組む。女性限定入会案内説明会の実施、シルバーいきいき祭り&リサイクルフェア開催、産業まつりなどへの出展は引き続き継続

◇事故を減らす取り組み

「安全はすべてに優先する」をモットーに、事故件数の減少を目指して職場の安全巡回実施、危険予知講習会・作業機械等取り扱い講習会開催などを引き続き実施するほか、安全就業基準の自己チェックを実施

◇事故再発防止策の徹底

昨夏に発生した会員死亡事故を受け、事故再発防止委員会がまとめた4項目の対策を徹底する

①体調がすぐれない時は就業しない、させない。就業交代しやすい職場体制作りを進める

②就業時に体調不良が発生した際「休憩を取らせる、帰宅させる、救急車を呼ぶ」などの対応を周知させる

③夏季屋外作業の熱中症対策の

強化

④就業前にお互いの体調を確認する

このほか、自転車運転や高齢者ドライバー向けの交通安全教室を開催。また3年ごとの会員証更新時に安全研修を含む会員研修を検討

理事会二ニュース

★第11回理事会 2月25日

・審議事項Ⅱ正会員の入会（14人承認、3月1日入会6人）、パソコン事業運営委員会設置要綱の廃止の件など要綱（要領）廃止計3件承認

・報告事項Ⅱ令和元年度事業実績（4月～1月）Ⅱ5億8304万円（前年度比4.3%増）、同予算執行状況

・協議事項Ⅱ日野市内で新型コロナウイルス感染者が発生したことに関する当SCの今後の対応について（本号1面の記事参照）

★委員長連絡会議 2月20日

議題Ⅱ各委員会の活動報告、令和2年度事業計画案（本号2面の記事参照）、ほか

「子ども食堂」のワク超えて ユニークな地域社会活動

「子どものたまり場すこやかひろば」―当SCの会員、小林守さん（日野本町班）は「子ども食堂」のワクをさらに広げたユニークな地域社会活動を実践しています。活動について小林さんに寄稿いただきました。

◇ ◇ ◇
「子ども食堂」への関心が一気に高まり、全国各地でたくさん「子ども食堂」が開設されました。立川社会福祉協議会が主催して「子ども食堂活動者・応援者募集」地域で子育てしませんか」というシンポジウムが行われ、地域の中で子どもの成長・教育などに関わって活動している民生児童委員、児童館職員、議員、そして「子ども食堂」を準備している方々等が



小林守さん

集まりました。その会に参加して、「私たちの地域にも子ども食



みんなで楽しく、おいしいひと時

堂を作ろう」と地域で子どもにも関わっている活動をしている人呼びかけ、準備会を作り、2018年3月に立川の錦町に「子どものたまり場すこやかひろば」を立ち上げました。以降、月1回食堂を開設しています。会の名称と目的についても話し合いましたが、「子ども食堂」という冠をなくし、対象については経済的困難だけでなく「子育て」に何らかの障害がある子どもを含めたすべての子どもを



対象とすることとしました。

東都生協の食材補助、フードバンク、地域のパン屋さんからなどの食材供給を受けながら、元病院の管理栄養士さんを中心に献立を考えて食事を作っています。特に予約は取っていないので、「何人参加するか」は当日にならないとわからず、天気によっても参加者数が減ったり増えたりするので、毎回ひやひやしながら準備をしています。民生児童委員の方が日常の活動を通して気になっている子どもに声をかけてくれていますが、親の同意がないとなかなか参加に結びつきません。一方、地域のスーパ市の市民活動掲示板に貼ったチラシを見て参加する親子連れの方もいます。開催場所は、障害者自立支援施設の食堂「モア」を借りてやっているのです。30人くらいが限度です。課題としては、どのようにして

共働・共助

配分金の支払日

- 3月19日(木)
- 4月20日(月)
- 5月20日(水)
- 6月19日(金)
- 7月20日(月)
- 8月20日(木)



ボランティアの方々にも支えられて

ホームページ：
<http://sukoyakap.html.xdomain.jp/>

子どもにとって望ましい組織にしていくか、ボランティアの確保も含め運営をどのように継続していくのかということですが、
2019年度は、高校受験を控えた中学3年生の学習支援にも取り組みました。もうすぐ3年目に突入しますが、今までの活動を振り返り、運営委員会で話し合いながら活動を継続していこうと思っています。

深刻さ増す事故多発

令和元年度、計20件に

当SCCの会員事故が止まりません。本紙前月号(154号)で1月に傷害事故2件が発生し、令和元年度の事故(傷害と賠償)が計19件となったことをお伝えしましたが、2月に入ってからさらに傷害事故1件が発生。事故は計20件に達しました。昨夏に起きた死亡事故を含め、ハイペースの事故多発は深刻さを増しています。

20件の内訳は傷害14件、賠償6件です。傷害の14件(男性10件、女性4件)を年齢別で見ると、60代2件、70代10件、80代2件で70歳以上の事故が12件と85%を占めます。

当SCC会員の平均年齢は年々上がっており、昨年度は73歳を超えました。年齢別の事故数字を見る限り、会員の高齢化が事故増加につながっている傾向は否定できません。

また傷害事故の内容は、転倒による骨折・損傷が最多の8件となっています。自転車の転倒以外に、本人がバランスを崩すなどして転

ぶケースも含まれ、加齢による身体機能の低下が事故を招いている例が目立ちます。一方、賠償事故は60代2件、70代3件、80代1件で、すべて男性によるものでした。

新たな事故

①令和2年1月7日午後1時ごろ、地区センターの地域班会議に参加した男性会員が自転車で帰ろうとしてスタンドに足をかけた際にバランスを崩し転倒。病院で尾てい骨にヒビが入っていると診断された(傷害)

②令和2年1月22日午前9時ごろ、センター事務所に書類を届けた男性会員が自転車で帰る途中、交差点でバランスを崩して転倒。救急車で病院に搬送され、左の鎖骨骨折と診断された(傷害)

2月に発生した傷害事故の概要は4月号に掲載します。

(安全管理委員会)

以下は過去の様子

実施校一覧

※門の名称はあくまで方位で表現したもので、学校での呼び名と異なる場合があります。



区分	番号	学校名	声かけ場所
小 学 校	1	日野第一小学校	南門(校庭側)・北門(校舎側)
	2	豊田小学校	東門(校庭側)・北門(校舎側)
	3	日野第三小学校	正門(校庭側)
	4	日野第四小学校	西門(体育館側)
	5	日野第五小学校	西門(体育館側)
	6	日野第六小学校	南門(校庭側)
	7	潤徳小学校	南門(校庭側)・西門(学童クラブ側)
	8	平山小学校	正門(幼稚園側)
	9	日野第七小学校	正門(保育園側)・北門(体育館側)
	10	滝合小学校	北門(学童クラブ側)・西門(校庭側)
	11	日野第七小学校	東門(学童クラブ側)・南門(校庭側)
	12	南平小学校	正門(プール側)
	13	旭が丘小学校	東門(体育館側)
	14	東光寺小学校	正門(金木犀側)
	15	仲田小学校	西門(体育館側)・東門
	16	夢が丘小学校	正門(校舎側)・南門(プール側)
	17	七生緑小学校	正門(大通り側)
中 学 校	1	日野第一中学校	正門(長屋門)
	2	日野第二中学校	南門(校庭側)・北門(公園側)
	3	七生中学校	正門(大通り側)
	4	日野第三中学校	正門
	5	日野第四中学校	東門(校庭側)・西門(大学側)
	6	三沢中学校	南門(テニスコート側)
	7	大坂上中学校	北門(昇降口側)
	8	平山中学校	南門(京王線側)・西門(食堂側)

令和2年度 あいさつ運動



力をお願いします。新規に参加を希望される方は事務局にお問い合わせください。(地域委員会)

令和2年度の「朝のあいさつ運動」は以下の日程で行う予定です。参加登録者の方々のご協力を

実施予定日

- 5月1日(金)
- 7月1日(水)
- 8月25日(火)
- 11月2日(月)
- 1月8日(金)
- 3月1日(月)

実施時間

小学校:7時50分~8時20分
中学校:8時00分~8時30分